

UniTECT

70SF

システム革命!

ウレタンのコストでふっ素の品質!

…… 低コスト ……

…… 高耐候性 ……

…… 低汚染性 ……

…… 低VOC ……

…… 工程削減 ……

ユニテクト70SFは、経済性と環境性能に優れた中塗上塗兼用ふっ素樹脂塗料です。

プラント鋼構造物外部用ふっ素樹脂塗料



経済性

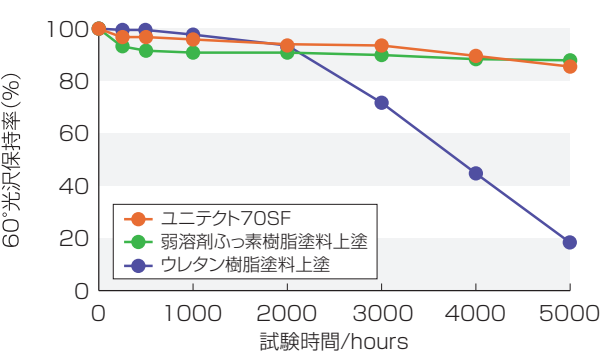
イニシャルコスト：中塗上塗兼用で工程短縮しコストダウン
ランニングコスト：ふっ素樹脂塗料の長期耐久性でコストダウン

環境性能

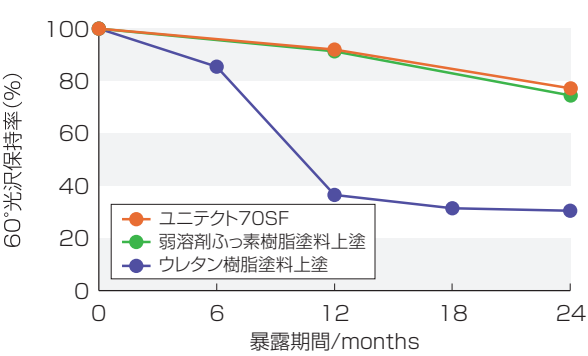
低汚染性（土木用防汚材料 1 種を満足します）
低 VOC 性（ハインリッド化により VOC を低減します）

ユニテクト70SFの耐候性

■ 促進耐候性試験(XENON)

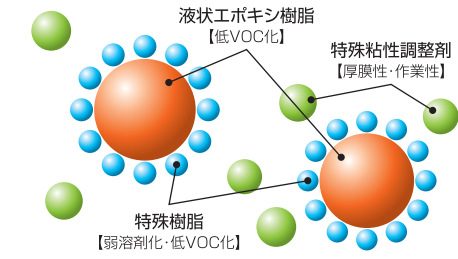


■ 沖縄暴露試験



低VOC・弱溶剤厚膜変性エポキシ樹脂系さび止め塗料

エスコNBマイルドH



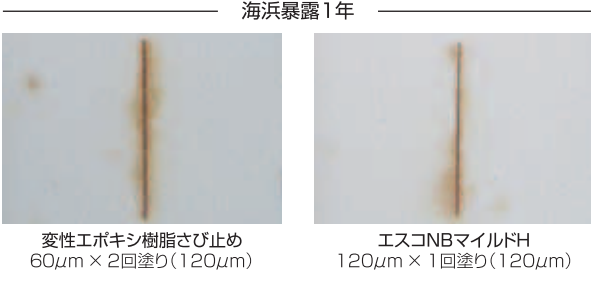
“液状エポキシ樹脂”と、新開発“特殊樹脂”を反応させることにより弱溶剤に可溶で溶剤含有量の少ない変性エポキシ樹脂ができました。
また、新開発“特殊粘性調整剤”により、厚塗り性と優れた塗装作業性を両立しています。

弱溶剤変性エポキシ樹脂系さび止め塗料

エスコNBセーフティ(K)

優れた防錆力

従来(強溶剤系)のエポキシ樹脂系さび止めと同等以上の防錆性能を有します。



優れた作業性

ハケ塗りでも120μmの膜厚を1回塗りで確保できます。

旧塗膜適性が広い

弱溶剤化により、リフティング(チヂミ)の問題を改善し、旧塗膜適性が広がりました。

■ 素地(さび面)への浸透が良く、優れた防食性を持ち、旧塗膜との付着性に優れています。

■ ハケ塗り作業性が優れています。

■ 耐水白化性に優れています。

ユニテクト70SFの性能

試験規格：JIS K 5659：2008 鋼構造物用耐候性塗料 上塗り塗料1級

試験項目	試験成績	試験規格
容器の中の状態	合格	かき混ぜたときに、堅い塊がなくで一様になる。
表面乾燥性	合格	表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	正常である。
ポットライフ	合格	規定時間後、使用できる。
隠蔽性(%)	93	白・淡彩 ^{※a} は90以上、鮮明な赤及び黄は50以上、その他の色は80以上
鏡面光沢度(60度)	85	70以上
耐屈曲性	合格	折り曲げに耐える。
耐おもり落下性(デュボン式)	合格	塗膜に割れ及びはがれが生じない。
層間付着性	合格	異常がない。
耐アルカリ性	合格	異常がない。
耐酸性	合格	異常がない。
耐湿潤冷熱繰り返し性	合格	耐湿潤冷熱繰り返しに耐える。
混合塗料中の加熱残分(%)	67	白・淡彩 ^{※a} は50以上、その他の色は40以上
促進耐候性	合格	照射時間2000時間の促進耐候性試験に耐える。
屋外暴露耐候性	合格	光沢保持率が60%以上で白亜化の等級が1又は0

注a 淡彩とは、白エナメルを主成分として作った塗料の塗膜に現れる、灰色、桃色、クリーム色、うすい緑色、水色などのようなうすい色で、JIS Z 8721による明度Vが6以上9未満のものとする。
※ JIS K 5659:2008 鋼構造物用耐候性塗料 上塗り塗料1級の試験を現在受検中です。

ユニテクト70SFの防汚染性

土木用防汚材料種(財団法人 土木研究センター)の品質を満足します。

■ 一般ふっ素樹脂塗料試験後の状態



■ ユニテクト70SF試験後の状態



ユニテクト70SFの荷姿等

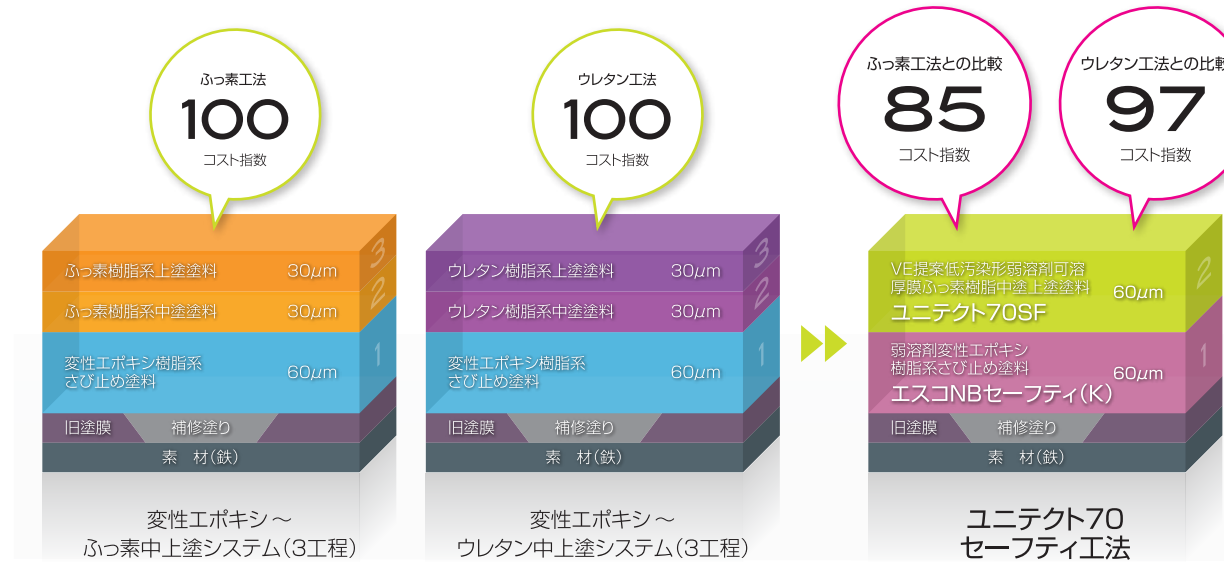
荷 姿	16kgセット(ベース:15.2kg / 硬化剤:0.8kg) 4kgセット(ベース:3.8kg / 硬化剤:0.2kg)	加熱残分	67
混合比	ベース / 硬化剤 = 19 / 1	労安法上の表示有害物	ベース:1-ブタノール 硬化剤:キシレン
色	各色	使用有機溶剤種別	ベース:第3種有機溶剤等 硬化剤:第3種有機溶剤等
塗料密度(塗料比重)	1.22	消防法による危険物区分	ベース:第2石油類 硬化剤:第2石油類
溶剤密度(溶剤比重)	0.83		

標準耐候性システム

弱溶剤可溶形変性エポキシ樹脂系さび止め塗料 ～
VE提案低汚染形弱溶剤可溶厚膜ふっ素樹脂中塗上塗塗料



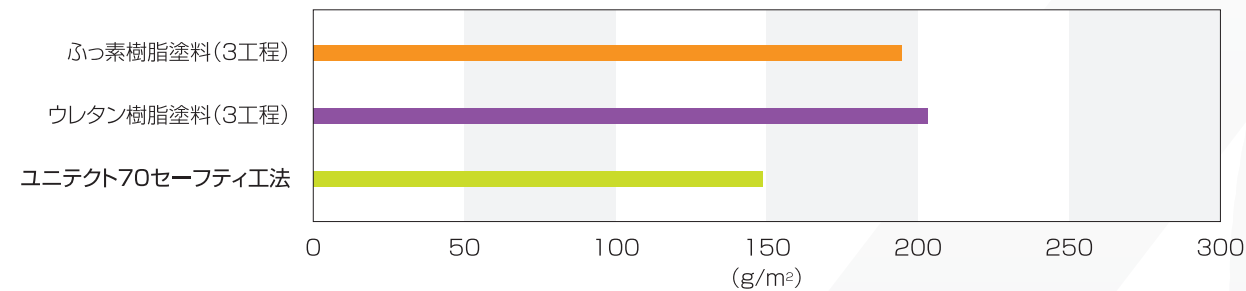
● 工法概要・塗装コスト指数比較



工法コスト指数引用データ

- ① 補修塗装面積は20%とした。
② コストは塗料費+塗装費の合計である。
③ 塗料費は2010年5月建設物価版、建設物価調査会 全国価格を引用した。 ※ 建設物価版にない塗料は、関西ペイント販売(株)施主様見積価格を採用した。
④ 塗装費は2010年1月土木コスト情報 建設物価調査会 東京を引用した。 ※ 土木コスト情報価格は「材・工・費」が記載されているため、〔土木コスト情報価格〕-〔建設物価価格(塗料価格m²当り)〕=塗装費とした。

● VOC(揮発性有機化合物)排出の比較



● 標準塗装仕様(塗り替え)

塗装工程	塗料名	塗装回数	塗装方法	標準塗付量 (g/m ² /回)	塗装間隔(20℃)		標準膜厚 (μm/回)	シンナー名 希釈率
					最短	最長		
素地調整	動力工具・手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はSSPC SP-3 (ISO St 3) まで除錆する。 活膜部は全面表面粗しを行う。							
補修塗り ^{注1}	SDシンク500マイルド (低溶剤弱溶剤有機シンクリッチペイント)	(1)	はけ ローラー	(320)	24時間	6ヶ月	(40)	塗料用シンナーA 0～5%
下塗り	エスコNBセーフティ(K) (弱溶剤可溶形変性エポキシ樹脂系さび止め)	1	はけ ローラー	200	16時間	1ヶ月	60	塗料用シンナーA 0～5%
上塗り	ユニテクト70SF (VE提案低汚染形弱溶剤可溶厚膜ふっ素樹脂中塗上塗塗料)	1	はけ ローラー	180	—	—	60	塗料用シンナーA 0～5%

注1) 狭隙部やエッジ部など、膜厚確保が困難な部位はあらかじめ補修塗りする必要があります。

※ 膜厚を確保するためには、ウェット膜厚管理をおすすめします。

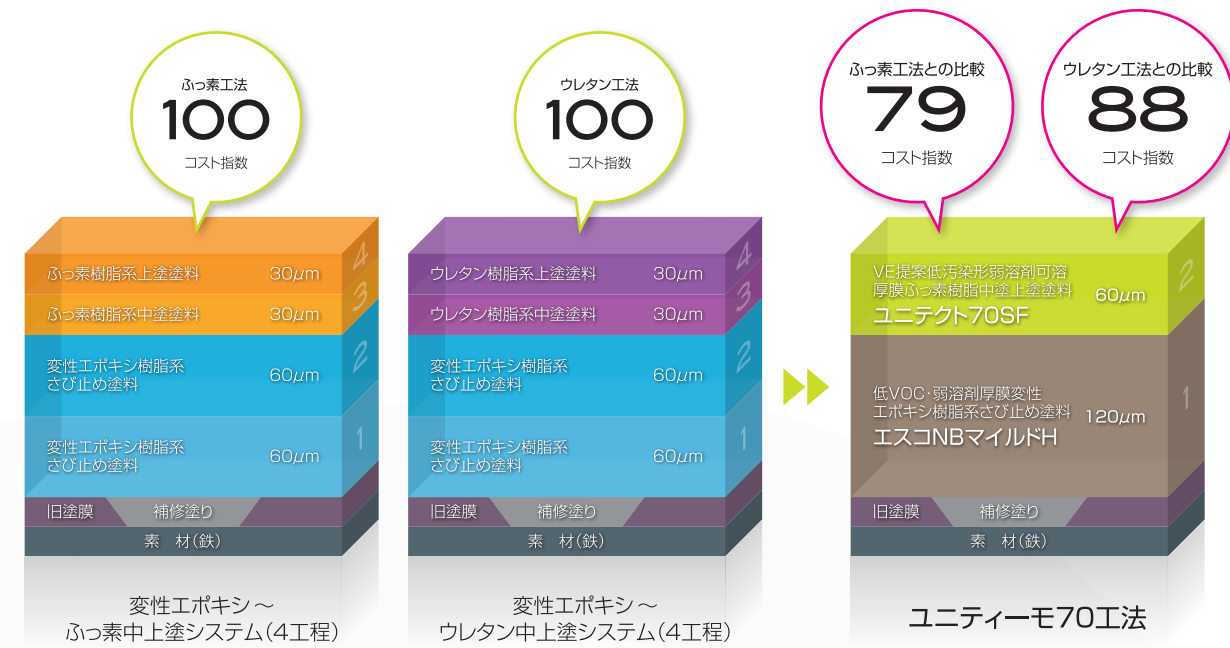
※ 上塗りの膜厚が少ない場合は、艶ムラが発生することがあります。

厚膜(防食)耐候性システム

低VOC・弱溶剤厚膜変性エポキシ樹脂系さび止め塗料 ～
VE提案低汚染形弱溶剤可溶厚膜ふっ素樹脂中塗上塗塗料



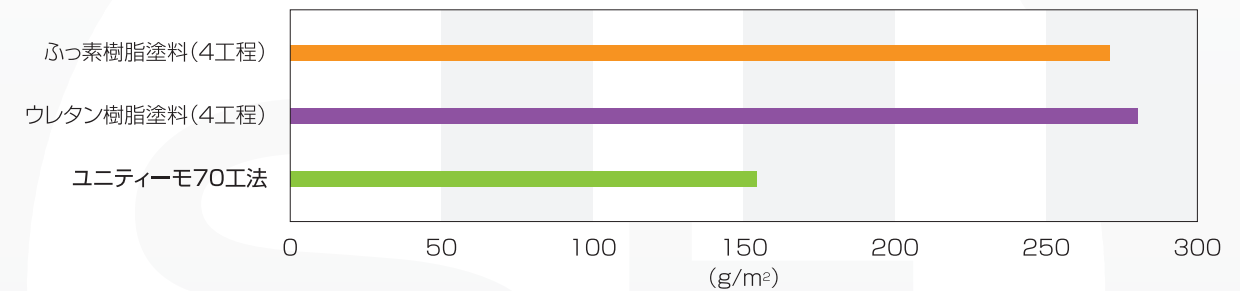
● 工法概要・塗装コスト指数比較



工法コスト指数引用データ

- ① 補修塗装面積は20%とした。
② コストは塗料費+塗装費の合計である。
③ 塗料費は2010年5月建設物価版、建設物価調査会 全国価格を引用した。 ※ 建設物価版にない塗料は、関西ペイント販売(株)施主様見積価格を採用した。
④ 塗装費は2010年1月土木コスト情報 建設物価調査会 東京を引用した。 ※ 土木コスト情報価格は「材・工・費」が記載されているため、〔土木コスト情報価格〕-〔建設物価価格(塗料価格m²当り)〕=塗装費とした。

● VOC(揮発性有機化合物)排出の比較



● 標準塗装仕様(塗り替え)

塗装工程	塗 料 名	塗装回数	塗装方法	標準塗付量 (g/m ² /回)	塗装間隔(20℃)		標準膜厚 (μm/回)	シンナー名 希釈率
					最短	最長		
素地調整	動力工具・手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はSSPC SP-3 (ISO St 3)まで除錆する。 活膜部は全面表面粗しを行う。							
補修塗り ^{E1}	SDシンク500マイルド [®] (低溶剤弱溶剤有機シンクリッチペイント)	(1)	はけ □ローラー	(320)	24時間	6ヶ月	(40)	塗料用シンナーA 0～5%
下塗り	エスコNBマイルドH (低VOC・弱溶剤厚膜変性エポキシ樹脂系さび止め塗料)	1	はけ □ローラー	320	8時間	1ヶ月	120	塗料用シンナーA 0～5%
上塗り	ユニテクト70SF (VE提案低汚染形弱溶剤可溶厚膜ふっ素樹脂中塗上塗塗料)	1	はけ □ローラー	180	—	—	60	塗料用シンナーA 0～5%

注1) 狭隙部やエッジ部など、膜厚確保が困難な部位はあらかじめ補修塗りする必要があります。

※ 膜厚を確保するためには、ウェット膜厚管理をおすすめします。

※ 上塗りの膜厚が少ない場合は、艶ムラが発生することがあります。

製品取扱上の注意事項（安全衛生他）

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
佐の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



関西ペイント株式会社

関西ペイント販売株式会社

本 社 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1
TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934

北海道販売部 〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718-4
TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

東北販売部 〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町3-40(KSCビル)
TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073

北関東信越販売部 〒321-0953 宇都宮市東宿郷4丁目2-24(センターズビルディング1F)
TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

松本営業所 〒390-0833 長野県松本市双葉10番22号(双葉町ビルB棟2階202号)
TEL (0263) 26-3377 FAX (0263) 26-3322

新潟営業所 〒950-0088 新潟市中央区万代5丁目7-2(シアース万代 西309)
TEL (025) 246-3347 FAX (025) 241-9442

前橋営業所 〒371-0804 前橋市六供町1丁目13-1(YK第1ビル)
TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0396

東京販売部 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1
TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

横浜営業所 〒235-0036 横浜市磯子区中原1丁目2-31-204
TEL (045) 761-7390 FAX (045) 761-7395

千葉営業所 〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷6丁目27-18(YSビル4F)
TEL (043) 297-3611 FAX (043) 297-3710

川越営業所 〒350-1116 川越市寿町1丁目2255-1(豊栄ビル2F2号室)
TEL (049) 243-4351 FAX (049) 243-4356

静岡営業所 〒422-8008 静岡市駿河区栗原12-9
TEL (054) 262-4747 FAX (054) 262-0330

中部販売部 〒460-0007 名古屋市中区新栄1丁目29-25
TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981

三重営業所 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1804-5
TEL (059) 397-3313 FAX (059) 397-4887

大阪販売部 〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目6-14
TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

神戸営業所 〒650-0046 神戸市中央区港島中町2丁目2-1-8-4
TEL (078) 303-2701 FAX (078) 303-8213

北陸営業所 〒924-0013 石川県白山市番匠町50-1
TEL (076) 275-7200 FAX (076) 275-7900

北陸営業所 (金沢G) 〒930-0004 富山市桜橋通り2-25(富山第一生命ビル)
TEL (076) 432-0109 FAX (076) 432-0189

中国販売部 〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-16
TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285

岡山営業所 〒700-0972 岡山市北区上中野1-16-2
TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460

四国販売部 〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2丁目88
TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

高知営業所 〒780-8007 高知市仲町2-28
TEL (088) 831-1577 FAX (088) 831-2528

九州販売部 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目5-8
TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

北九州営業所 〒807-0811 北九州市八幡西区洞北町2-10
TEL (093) 601-1336 FAX (093) 601-1371

熊本営業所 〒861-4101 熊本市南区近見8丁目14-66
TEL (096) 358-4011 FAX (096) 358-4014

鹿児島営業所 〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目69-5
TEL (099) 266-2960 FAX (099) 266-2962

沖縄営業所 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3丁目9-1(勢理客産業ビル4F)
TEL (098) 870-8782 FAX (098) 870-8652

ご用命は